

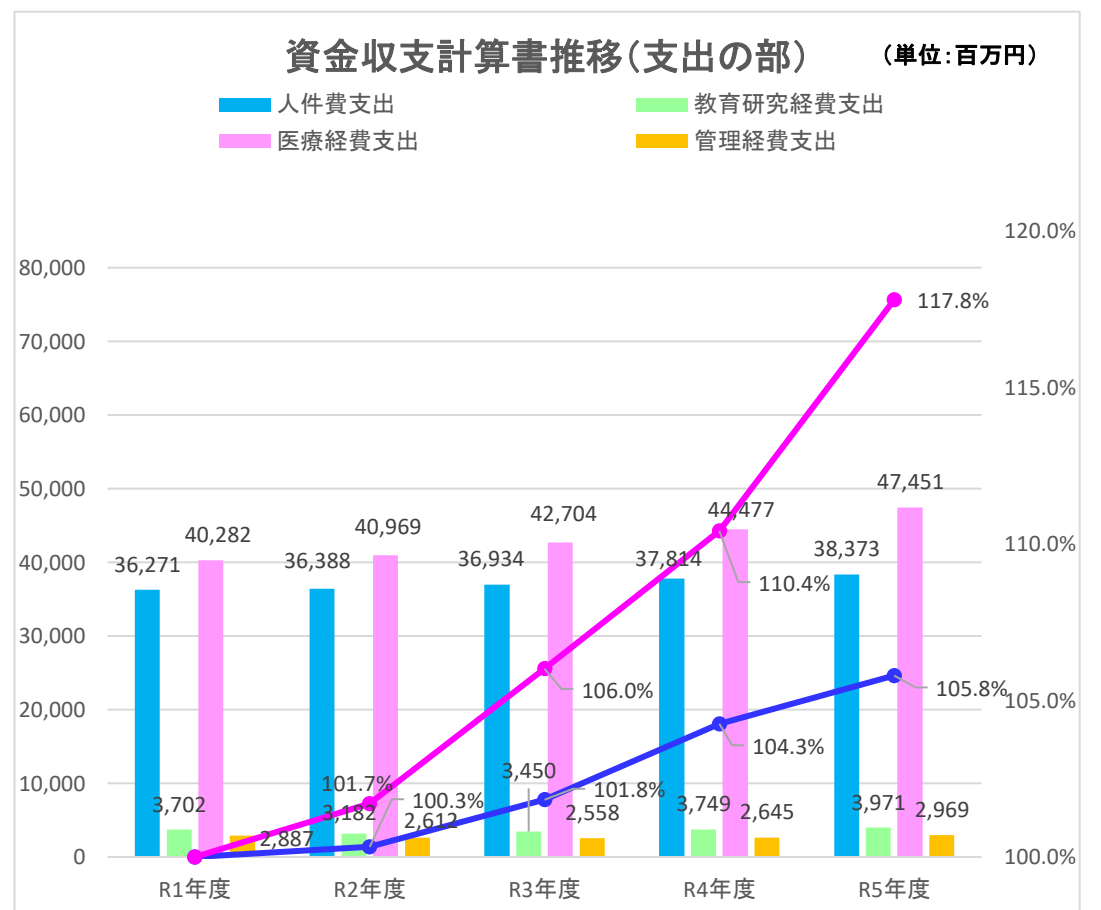
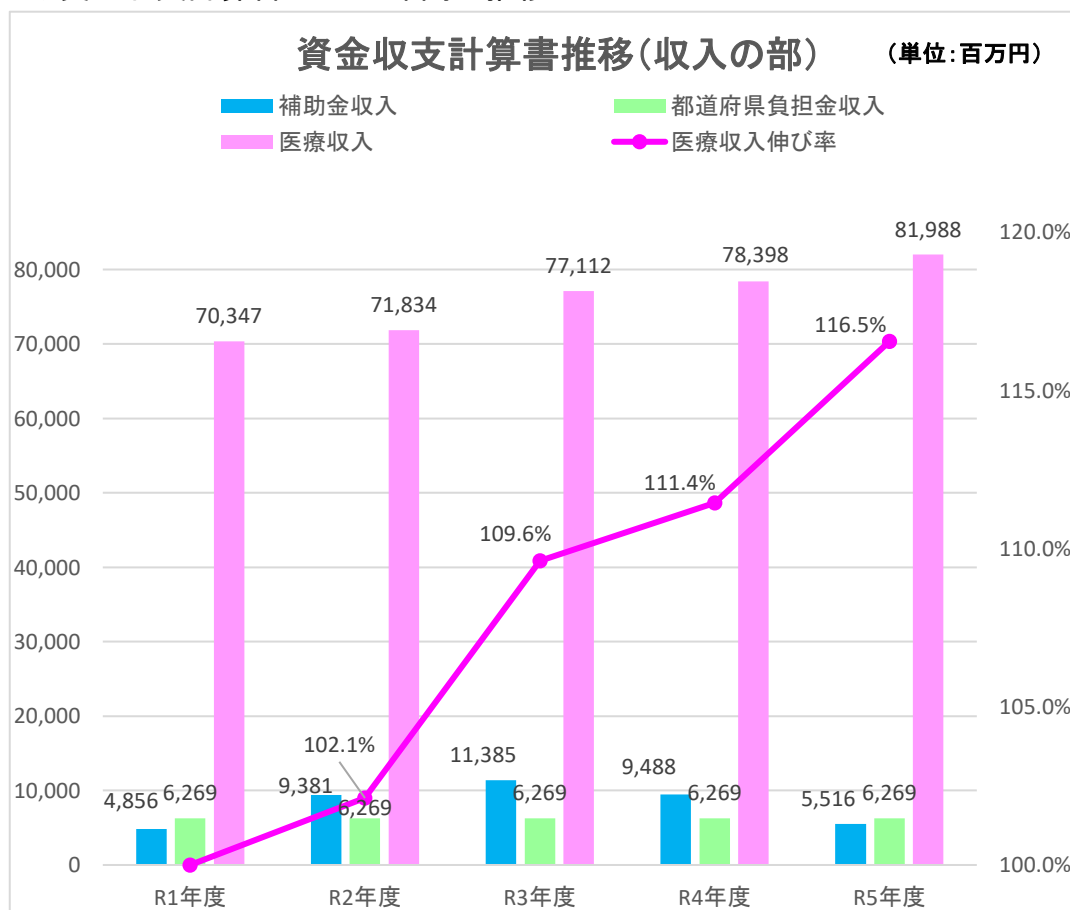
資金収支計算書

(単位 百万円)

収入の部				支出の部			
科目	R5決算	R4決算	差異	科目	R5決算	R4決算	差異
学生生徒等納付金収入	(3,571)	(3,566)	(5)	人件費支出	(38,373)	(37,814)	(559)
手数料収入	(52)	(50)	(2)	教育研究経費支出	(3,971)	(3,749)	(222)
寄付金収入	(527)	(561)	(△34)	医療経費支出	(47,451)	(44,477)	(2,974)
補助金収入	(11,785)	(15,757)	(△3,972)	管理経費支出	(2,969)	(2,645)	(324)
国庫補助金収入	2,631	2,772	△141	借入金等利息支出	(0)	(0)	(0)
地方公共団体補助金収入	2,883	6,714	△3,831	借入金等返済支出	(0)	(0)	(0)
地方公共団体負担金収入	6,269	6,269	0	施設関係支出	(6,564)	(944)	(5,620)
その他補助金収入	2	2	0	設備関係支出	(8,681)	(3,461)	(5,220)
資産売却収入	(3,950)	(2,192)	(1,758)	資産運用支出	(5,539)	(6,877)	(△1,338)
付随事業・収益事業収入	(2,699)	(2,001)	(698)	その他の支出	(14,360)	(14,003)	(357)
医療収入	(81,988)	(78,398)	(3,590)				
受取利息・配当金収入	(175)	(138)	(37)	資金支出調整勘定	(△10,410)	(△10,489)	(79)
雑収入	(1,128)	(950)	(178)	翌年度繰越支払資金	(12,272)	(8,809)	(3,463)
前受金収入	(5,521)	(81)	(5,440)				
その他の収入	(25,592)	(19,194)	(6,398)				
資金収入調整勘定	(△16,027)	(△18,197)	(2,170)				
前年度繰越支払資金	(8,809)	(7,599)	(1,210)				
収入の部合計	129,770	112,290	17,480	支出の部合計	129,770	112,290	17,480

法人全体の教育研究活動等に伴う全ての収入と支出を明らかにする資金収支計算書における決算額は、129,770百万円となった。

◆資金収支計算書のここ5年間の推移



※上表はここ5年間の資金収支計算書における収入・支出の主要科目の推移を表している。折れ線グラフはR1年度を起点とした医療収入及び人件費並びに医療経費支出の伸び率を表している。

事業活動収支計算書

(単位:百万円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	R5決算	R4決算	差異	教育活動	事業活動収入の部	科目	R5決算	R4決算	差異
		学生生徒等納付金	(3,571)	(3,566)	(5)			受取利息・配当金	(175)	(138)	(37)
手数料	(52)	(50)	(2)	その他の教育活動外収入	(0)	(0)	(0)				
寄付金	(511)	(543)	(△32)	教育活動外収入計	(175)	(138)	(37)				
経常費等補助金	(11,031)	(14,798)	(△3,767)	事業活動支出の部	科目	R5決算	R4決算	差異			
国庫補助金	2,580	2,771	△191	借入金等利息	(0)	(0)	(0)				
地方公共団体補助金	2,180	5,756	△3,576	その他の教育活動外支出	(0)	(0)	(0)				
地方公共団体負担金	6,269	6,269	0	教育活動外支出計	0	0	0				
その他の補助金	2	2	0	教育活動外収支差額	175	138	37				
付随事業収入	(2,699)	(2,001)	(698)	経常収支差額	△4,244	711	△4,955				
医療収入	(81,988)	(78,398)	(3,590)	事業活動収入の部	科目	R5決算	R4決算	差異			
雑収入	(1,128)	(949)	(179)	資産売却差額	(422)	(0)	(422)				
教育活動収入計	100,980	100,305	675	その他の特別収入	(901)	(1,044)	(△143)				
特別収入計				特別収入計	1,323	1,044	279				
事業活動支出の部	科目	R5決算	R4決算	差異	事業活動支出の部	科目	R5決算	R4決算	差異		
人件費	(39,108)	(37,918)	(1,190)	資産処分差額	(453)	(166)	(287)				
教育研究経費	(33,859)	(5,454)	(28,405)	その他の特別支出	(0)	(0)	(0)				
医療経費	(25,834)	(49,989)	(△24,155)	特別支出計	453	166	287				
管理経費	(3,737)	(3,314)	(423)	特別収支差額	870	878	△8				
徴収不能額等	(2,861)	(3,057)	(△196)	[予備費]			0				
教育活動支出計	105,399	99,732	(5,667)	基本金組入前当年度収支差額 ※	A	△3,374	1,589	△4,963			
教育活動収支差額	△4,419	573	(△4,992)								

事業活動収入計	102,478	101,487	991	基本金組入額合計	B	△10,026	△306	△9,720
事業活動支出計	105,852	99,898	5,954	当年度収支差額 (C=A+B)	C	△13,400	1,283	△14,683
基本金組入前当年度収支差額 (※再掲:いわゆる損益収支)	△3,374	1,589	△4,963	前年度繰越収支差額	D	△87,376	△88,659	1,283
				基本金取崩額	E	0	0	0
				翌年度繰越収支差額 (F=D+C+E)	F	△100,776	△87,376	△13,400

貸借対照表より

基本金合計	G	253,741	243,715	10,026
純資産額 (H=G+F)	H	152,965	156,339	△3,374

令和5年度における法人の経営状況を示す事業活動収支計算書では、事業活動収入計が102,478百万円、事業活動支出計が105,852百万円となり、その差額である

「基本金組入前当年度収支差額※」(いわゆる損益収支)は、△3,374百万円の赤字決算となった。

令和6年度については、一層の賃上げや医師の働き方改革の影響に伴う人件費支出の増加、インフレ等を背景とした資材価格の高騰、光熱費の高止まりなど、より一層厳しい環境となることが予想されることから、「経営改革推進本部」を中心に、経営改善の取組みを不断に進めていく必要がある。

◆基本金組入前当年度収支差額(いわゆる損益収支)と純資産額の推移

(単位:百万円)

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
基本金組入前当年度収支差額 (いわゆる損益収支)	4,164	1,695	2,867	2,488	△43	△2,443	△3,537	△3,975	△5,411	△5,136	△636	5,086	1,589	△3,374
純資産額	163,795	165,490	168,357	170,845	170,802	168,360	164,823	160,848	155,436	150,300	149,664	154,750	156,339	152,965